

# 調布市空き家リノベーションプロジェクト

家政学部 建築・デザイン学科 建築計画研究室 高橋大輔教授

3年 藤木菜央 目黒優梨子 石田麻乃 伊澤舞 武田彩希

## トビバコ



調布市では、空き家を「地域の資源」として空き家の利活用に取り組んでいる。そのプロジェクトの一環として、西調布の空き家を利活用してオープンした、まちの拠点である「トビバコ」で活動を行っている。

管理人が助成金などを活用し、住み込み管理人や企画者リーダーが住居の管理、SNS運営を行っている。そのおかげで、トビバコに所属する企画者は無料で利用可能。自由度の高い、ママカフェやてらこや、駄菓子屋などを行っている。



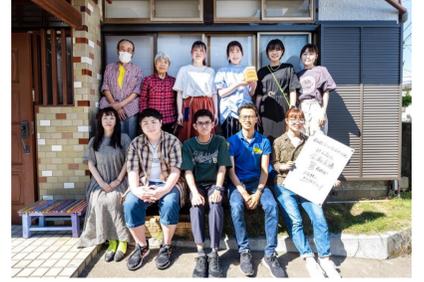
管理人  
運営・資金調達



住み込み管理人  
住居の管理



企画者リーダー  
SNS運営等



2023年6月オープニングイベント  
約2年間の期間限定としてオープン

空き家を利活用する「トビバコ」で、私たちは運営や広報に携わり、ワークショップやイベントの企画・参加を通じて、空き家利活用への理解と知識を深め、地域との関わり方や活用の可能性について学ぶことを目的としています。

活動を通して…

空き家を利活用している多くの人々は、空き家利活用という意識を持たず、単にたまたま場所があったからという理由で利用しているケースが多い。



空き家という負の遺産を新たな価値のある居場所として再生していく素晴らしさを伝え空き家利活用を広めていく。

空き家利活用は単なる問題解決の手段ではなく、  
新しい可能性を広げる挑戦の場



2025年2月フィナーレイベント  
一度区切りをつけトビバコの二段目として再オープンが決定



### [活動内容]

## 01 紙すきワークショップ



2024年6月23日・30日  
身近な古紙やトイレト  
ーパーから紙をつく  
った。紙と水をペット  
ボトルに入れて振るこ  
とで紙を溶かす。紙  
をすき、絵の具や花  
紙をちらし、自分だ  
けのオリジナルの紙  
を作成。

多くの親子が参加し、子どもたちは、紙が溶けていく様子を不思議そうにながめていました。後日できあがった紙を短冊にし七夕の飾りを作成しました。トビバコで直接会話することで、トビバコの魅力、可能性を実感しました。



## 02 よさこい祭り・夏祭りなど



調布市のよさこい祭りでは管理人が開催するワークショップのお手伝いに行きました。管理人の職場の同僚のインド人の方と交流を深めながら、大勢の人と関わる貴重な機会となりました。また自治会主催の夏祭りにトビバコが参加し、多くの企画者さんと一緒に輪投げや、駄菓子屋、射的などの出店を開きました。そしてイベントに参加するたびに、記録し、記事としてまとめてホームページに掲載してきました。活動を振り返ることで、自らの学びを深めるとともに、学生ならではの視点でわかりやすく伝えることができました。

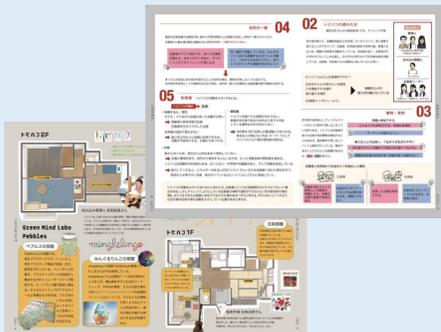
## 03 冊子制作



トビバコの二年間の活動をまとめた冊子づくりを行いました。

トビバコの魂、存在を残す。  
→空き家利活用を知るきっかけに

2週間に1度の冊子編集会議を経て、台割を作成していきまいた。企画者に直接アポをとり、夏休みにインタビューを行いました。他にも調布市の他の空き家についてや、空き家の利活用の研究成果などを一冊にまとめました。全て一からイラストやデザインも行い、手間ひまかけた分、冊子が完成した際には達成感でいっぱいでした。



## 04 フィナーレ

2025年2月24日今までトビバコに関わった、企画者さんや利用者さんたちを招いてフィナーレイベントを行いました。私たちは調布出身の絵本作家・五味太郎さんにちなんで、部屋の装飾を準備しました。また住み込み管理人さんが用意したカレーを縁側で食べたりと、参加者同士が交流を深める場となりました。これまでの活動を振り返る報告や、制作していた冊子の完成報告も行い、心に残るひとときとなりました。トビバコを通じて人や地域とのつながりが広がり、思い入れのある特別な場所となりました。活動を重ねる中で、私たち自身も成長し、貴重な経験を得ることができました。

